

返還映画



コレクション(3)

第二次・劇映画篇

2025年

7月15日㈭
8月24日㈰

●会期中の休館日＝月曜日

国立映画アーカイブ

長瀬記念ホール OZU[2階]

●定員＝310名[各回入替制・全席指定席]

●各回の開映後の入場はできません



長瀬記念ホール OZU
上映作品

返還映画コレクション(3) — 第二次・劇映画篇 —

Repatriated Film Collection [Part 3]: Fiction Films, 1931-1944

東京国立近代美術館が1968年に「返還映画」を冠した特集上映を組んで以来、およそ半世紀ぶりの開催となった2023年度の「第一次・劇映画篇」、2024年度の「第一次／第二次・劇映画篇」に続き、「返還映画コレクション(3) — 第二次・劇映画篇」を開催します。

アメリカ議会図書館に約1,400本におよぶ戦前・戦中期の日本映画が残存している事実が判明したのは、1964年のことです。日米双方による事前調査と折衝を経て、1967年11月8日に「交換協定文書」が調印され、日本側が返還を希望した可燃性フィルム群が里帰りを果しました。その後の困難な整理・不燃化作業を経て、国立映画アーカイブの基盤となるコレクションを形成した「返還映画」の中には、戦時期に米国内の各地で日系人から接収されたものや、戦後に民間情報教育局(CIE)の覚書「非民主的映画の排除」によって上映を禁止された劇映画の一部等が含まれていました。このたび当館では、1967年の第一次から1984年の第四次にかけて返還された可燃性フィルムの収蔵時の経緯等について再調査を実施し、収蔵時期の明確になったコレクションから順次(再)公開する運びとなりました。

本企画は、社団法人・日本映画製作者連盟(当時)加盟の大手映画会社4社(松竹、東宝、大映、日活)と、東京国立近代美術館フィルム・ライブラリー運営委員(飯島正、池田義信、牛原虚彦、川喜多かしこ、島崎清彦、清水晶)らの選定により、1968年に第二希望としてアメリカ議会図書館から返還を受けた劇映画群を、29プログラム(31作品)に組んで上映する回顧特集です。これら第二次返還映画の多くは、フィルムセンター時代の3企画「収蔵映画未公開作品の上映」(1974)、「収蔵映画未公開作品の上映(戦前の時代劇を集めて)」(1975)、「映画を見る昭和十年代」(1977)や、監督特集などで個別に採りあげてきましたが、コレクションという形でまとめて上映するのは今回が初となります。無声映画『紅蝙蝠 第一篇』(1931)をはじめ、映画界が臨戦体制に入った1937年から太平洋戦争末期の1944年にいたる諸作まで、第二次返還映画の光と影に新たな視線を注ぐ機会となれば幸いです。皆様のご来場をお待ちしております。

- 監督・演出 原作・原案 脚本・脚色
- 撮影 美術 音楽 出演
- スタッフ、キャスト欄の人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 返還された可燃性フィルムの状態や現像処理時の不具合等により、音声レベルが極端に変動するなど、音声の聞き取りづらい作品が多く含まれています。
- 不完全なプリントや状態の悪いプリントが含まれていることがあります。
- ♪の回は弁士・伴奏付上映です。★の回は講演があります。

1 7/15(火)15:00 8/9(土)13:00 ♪

紅蝙蝠 第一篇

(101分・16fps・35mm・無声・白黒)

長谷川伸による同名小説を映画化。喧嘩っ早い浪人・戸並長八郎(光岡)が恋するおちい様(吉野)は、藍坂帶刀(葛木)と許嫁であった。しかし帶刀とその父・群大夫は、お家再興のために許嫁を老中・田沼意次の側女にする奸計をめぐらしていた。目まぐるしいカメラの動きと素早い編集によるスピード感溢れる立廻りが見どころ。

1931(日活京都) 田中都彦監督 長谷川伸原作 松本常男 谷本精史 光岡龍三郎、磯川元春、浅香新八郎、阪東巴左門、葛木香一、鳥羽陽之助、酒井米子、吉野朝子

4 7/16(水)15:00 7/31(木)19:00

相馬の金さん

(55分・35mm・白黒・不完全)

岡本綺堂による新歌舞伎の戯曲の3度目の映画化。江戸時代末期、江戸に薩摩の大軍が押し寄せる中でも相馬の金さん(海江田)は悠々自適に過ごしていた。しかし日頃親しくしてたご隠居(深見)を傍若無人な薩長軍に殺されたことで、金さんは彰義隊に身を投じて仇を討とうとする。オリジナルは63分だが、一部の欠落に加えてフィルムの繋ぎが混乱している箇所もある。

1938(東宝映画・京都) 鈴木葉姫 菅岡本綺堂 監修 児井英男 平野好美 北村高敏 白木義信 海江田譲二、月宮乙女、森野鍛冶哉、深見泰三、澤村昌之助、大谷友彦、林喜美子、山田好良、渡草二、進藤英太郎

2 7/15(火)19:00 7/31(木)15:00 8/23(土)16:30

召集令

(73分・35mm・白黒)

軍事浪曲「召集令」は、無声時代から映画化されているが、本作は東家樂燕が口演した浪曲映画。貧困にあえぎながらも、忠誠に生きる幸三(中田)に召集令が下される。病床の妻と幼い子を残すことを気に病んだ幸三は、一家を中心と図ろうとするが…。軍事色が強まる時代背景の中、当時多数製作された「召集令」の一編であり、戦場の臨場感と村の子どもたちの無垢な描写が鮮やかに対比されている。

1935(日活多摩川) 監修 渡邊邦男 原作 口演 東家樂燕 横田達之、渡邊五郎、堀保治、進藤誠吾 中田弘二、中野かほる、廣瀬恒美、大原雅子、澤村貞子、星ひかる、高木永二、村田宏壽、若太刀芳之助、佐藤圓治

進軍の歌

(50分・35mm・白黒)

幼なじみながらも、会社の労働側と経営側とに立場が分かれ、決定的に対立した後作(佐分利)と次郎(広瀬)。そんな2人に時を同じくして召集令状が届く。次郎はわだかまりを捨て共に戦場で戦う友として和解しようと説く。召集による一体化の浸透を狙った「召集令」ではあるが、歌謡映画に才を發揮した佐々木康らしく、銃後の女性の描写にも力点が置かれている。

1937(松竹大船) 佐々木康 岩崎栄 監修 斎藤良輔 野村昊 周襄吉 万城目正 佐分利信、廣瀬徹、川崎弘子、桑野通子、水戸光子、河村黎吉、奈良真養

3 7/16(火)19:00 8/2(土)13:00 8/15(金)15:00

怪奇 江戸川乱山

(62分・35mm・白黒)

夏に公開された怪談映画の一本だが、『恐怖城』(1932、ヴィクター・ハルベリン)の影響が色濃く感じられ、日本初のゾンビ映画と形容するにふさわしい異色作に仕上がっている。西洋の古典的怪奇映画で定番の不気味な儀式が行われる一方で、神出鬼没の江戸川乱三(羅門)が逆さ吊りで現れるなど、多様なホラー演出が作品内に同居している。東宝の資本で設立された今井映画製作所の貴重な現存作品。

1937(今井映画製作所) 下村健二 町井春美 中原務 羅門光三郎、山田好良、伊丹兼美、大倉文男、泉清子、宝久美子、富樫延好、國創典

5 7/17(木)19:00 8/1(金)15:00 8/16(土)19:00

心の太陽

(77分・35mm・白黒)

夫を戦争で失ったくに子(坪内)は、小さなクリーニング屋を切り盛りしていた。そこに遠縁の信造(水島)が現れ、言葉巧みにくに子の弔慰金を持ち出したことでささやかな日常に暗雲が立ち込める。楽観的過ぎるくらいもあるが、銃後の女たちの連帯を明るく描写する手捌きと、ロケーションの魅力を活かした美しい移動撮影に松竹大船の確かな伝統が息づいている。

1939(松竹大船) 深田修造 柳井隆雄 齊藤正夫 五所福之助 篠田謹治 坪内美子、水戸光子、大塚紀男、横美佐子、吉川満子、奈良真養、岡本文子、水島亮太郎、三井秀男、突貫小僧

6 7/17(木)15:00 8/10(日)13:00

エノケンの頑張り戦術

(74分・35mm・白黒)

家はお隣さん、しかも同じ防弾チョッキメーカーに勤める2人の男(榎本、如月)が通勤時間の速さ、上司の評価、はたまた休日の家庭サービスに至るまでモーレツ社員ぶりを競い合う。組織への忠誠心が称揚されてはいるものの、それらを過剰に見せることによって見事に笑いに転化させたスラップスティック喜劇。

1939(東宝映画・東京) 中川信夫 小国英雄 伊藤武夫 吉松英海 栗原重一 横本健一、宏川光子、小高たかし、如月寛多、濱谷正代、柳田貞一、柳文代、音羽久美子、金井俊夫、北村武夫、南光司

7 7/18(金)15:00 8/2(土)19:00

無明有明 [後篇]

(59分・35mm・白黒・不完全)

『婦人俱楽部』に連載されていた吉川英治の同名小説の映画化。人斬りの下手人に仕立てられた北條(月形)はなんとか逃亡するも、妻と子どもとは離れ離れになってしまう。陰謀や怨念に巻き込まれた男が無明の中、濡れ衣を晴らし、家族と再会するため奮闘する姿を大胆なアクションで描いた時代劇。

1939(日活太秦) 松田定次 山城伸作 吉川英治 吉見滋男 高橋半四郎 月形龍之介 大倉千代子、市川正二郎、香川良介、尾上華丈、團徳磨、柳恵美子



紅蝙蝠 第一篇



怪奇 江戸川乱山



召集令



相馬の金さん

8 7/18(金)19:00 8/2(土)16:00 8/19(火)15:00

征戦愛馬譜 晩に祈る (105分・35mm・白黒)

牧場を継いでほしいと願う親の反対を押し切って農家の真吉(徳大寺)に嫁いだ千代(田中)。親は千代を勘当したが、彼女の愛馬「太郎」を授ける。夫婦はこの馬を大切に育てあげるが、やがて真吉は召集され中國大陸の戦地に。のちに太郎にも軍馬として徵發令が届くのだった。映画後半は日中戦争における軍馬の活躍がクローズアップされていく。武器として馬の生産を奨励していた陸軍省の後援で製作され、実際の戦地にまで撮影隊が派遣されている。

1940(松竹大船)監佐々木康輔・齋藤良輔、八木澤武孝
脚野村義美五所福之助・万城目正・徳大寺伸、田中綱代、河村黎吉、夏川大二郎、佐分利信、伊藤久男、葛城文子、汀陽子、坂本武、飯田蝶子、横山準、笠智衆

冒頭から74分ほどの箇所より、複製基素材に由来する焼き込まれによって10分程度大きなノイズがあります。

9 7/20(日)13:00 8/5(火)19:00 8/20(水)15:00

美女桜【暴風篇・黎明篇】

(114分・35mm・白黒)

松竹京都の主軸として任侠・歌謡時代劇などを手がけていた大曾根辰夫が、大佛次郎による時代小説を映画化。越前椎谷の小名の大隠居を機に、嫡子暗殺を企む渋江帶刀(海江田)一派と、それを阻もうとする秋月十太夫(坂東)ら浪人たちが熾烈な跡目争いを繰り広げる。渋江らの悪事を雄弁に語る「ア呆陀羅經」など、本作では劇中歌が物語の進行に重要な役割を果たしている。

1940(松竹京都)監大曾根辰夫・大佛次郎脚齊木大吉
脚服部幹夫・山田竹治郎監高橋虎之助・坂東好太郎、海江田謙二、尾上栄五郎、川浪良太郎、坪井哲、高松錦之助、鶴操、北見礼子、久松三津枝、太田順子

10 7/19(土)16:00 8/5(火)15:00 8/15(金)19:00

舞台姿(102分・35mm・白黒)

同年の『絹代の初戀』に続いて、野村浩将、池田忠雄、田中綱代がトリオを組んだ「芸道もの」。田中は父親(河村)が座頭を務める旅回りの歌舞伎一座を取りまとめるしっかり者の一人娘を演じる。演目に勇ましい剣舞を求められたり、夜逃げした役者が軍需工場の職工になったりと、戦時下の状況が随所に浮かび上がってくる。物語の結末は当時の国策に沿ったものであろう。

1940(松竹大船)監野村浩将脚池田忠雄、荒田正男脚齋藤正夫・浜田辰雄脚伊藤宜二脚田中綱代、島崎瀬、河村黎吉、坂本武、小林十九二、水島亮太郎、阿部正三郎、磯野秋雄、三井秀男、飯田蝶子、吉川満子、小藤田正一

冒頭から87分ほどの箇所より、複製基素材に由来する焼き込まれによって10分程度大きなノイズがあります。

11 7/19(土)19:00 8/6(水)15:00 8/19(火)19:00

權三と助十(78分・35mm・白黒)

繰り返し映画化されている大岡政談の挿話を題材にした作品。『かごや判官』(1935、冬島泰三)で權三と助十に扮した坂東好太郎と高田浩吉が再び同役を好演している。お調子者のかごや・權三と助十はある夜、人斬りの現場に出くわす。2人が想いを寄せる娘・お鶴(宮)の恋人の父親が下手人として捕えられるが、真犯人と結託した親分に口止めされた權三と助十は真実を言い出せず…。

1940(松竹京都)監古野栄作、堀内真那夫脚御手洗一夫
脚横光信雄脚渡辺昭監高橋虎之助脚坂東好太郎、高田浩吉、海江田謙二、志賀靖郎、新妻四郎、玉島愛造、北岡勲、柳さく子、宮紀久子

12 7/20(日)16:00 8/6(水)19:00 8/21(木)15:00

二本松少年隊(72分・35mm・白黒・不完全)

幕末の戊辰戦争。薩摩・長州・土佐の新政府軍は総勢7,000名での進軍を続けていた。対する二本松藩の兵力は1,000名足らず。西洋式銃砲術の師範であった木村鉄太郎(高田)は周囲の反対を押し切り、17歳から12歳の少年たちによる砲撃隊を組織する。悲劇として語り継がれる「二本松の戦い」を木村隊の内側からの視点で映画化。

1940(松竹京都)監秋山耕作脚安藤信彦脚土井逸雄脚片岡清脚六郷俊介脚酒井菊之助脚高田浩吉、北見礼子、堀正夫、葉山純之助、松浦築枝、天野刃一、梅若礼三郎、中村政太郎、乃木年雄

13 7/22(火)15:00 8/16(土)16:00

都会の奔流(93分・35mm・白黒・不完全)

丸の内界隈の会社で課長をつとめる八田啓一(佐分利)が、婚約者である信江(川崎)の弟・喜郎(三井)を更生させようと自宅に引き取る。しかし喜郎は恩を仇で返した拳銃、不良青年の牧(川名)と喧嘩して大怪我を負ってしまう。啓一が「兄」として輸血を申し出た末、信江が「血縁」でつながる家族関係を称揚して大団円を迎える展開に、戦時下のメロドラマらしい側面が見てとれる。冒頭クレジットのみ欠落。

1940(松竹大船)監佐々木啓祐脚猪俣勝人脚長岡博之脚早乙女光脚佐分利信、三井秀男、原保美、木暮実千代、川崎弘子、笠智衆、河村黎吉、川名輝

14 7/22(火)19:00 8/7(木)15:00 8/17(日)16:00

美しき隣人(84分・35mm・白黒)

兄の出征を受け、田舎で暮らす年老いた母のために東京から故郷へ戻った邦子(水戸)は、幼なじみの清(高倉)と再会する。軍馬を育てる邦子と満洲へ渡ることを計画する清はお互い惹かれながらもすれ違ってしまう。2人のすれ違いの恋を通じて、戦時下の都会と田舎の暮らしが描かれる。

1940(松竹大船)監大庭秀雄脚武井韶平脚寺尾清脚坂寅三脚田謹治脚戸光子、飯田蝶子、笠智衆、松島詩子、高倉彰、大塚君代、廣瀬徹、三浦光子、坂本武、阿部正三郎



征戦愛馬譜 晩に祈る



二本松少年隊



美女桜【暴風篇・黎明篇】



美しき隣人

15 7/23(水)15:00 8/8(金)19:00 8/16(土)13:00

姉の出征(65分・35mm・白黒)

農村で両親や幼い弟と暮らす秀子(高峰)は、赤十字の看護婦として働く姉・節子(山根)に憧れ、自身も同じ道を歩みたいと願っていた。やがて休暇で帰郷した姉に、節子は胸の内を吐露するが…。戦地へ赴く姉と「ふるさと」を護る妹の姿をとおして国家への奉公のかた話を説く戦時映画だが、小豆島でロケされた自然風景の美しさや細かな所作の表現など慎ましく情緒豊かな演出が光る。

1940(東宝映画・京都)監近藤勝彦脚眞壁博脚河崎喜久三脚北村高敏脚鈴木靜一脚高峰秀子、山根壽子、小杉義男、藤輪欣司、三田國夫、進藤英太郎、山田長正、森野鍛冶哉、伊東薰、小高まさる

16 7/23(水)19:00 8/8(金)15:00 8/17(日)13:00

嵐に咲く花(86分・35mm・白黒)

福沢諭吉(大河内)の教えに背いて慶應義塾を脱走し、戦乱に身を投じた平九郎(黒川)と大庄屋の娘・おけい(山田)の人生は会津と横浜で交錯する。明治初期の動乱に翻弄されながらもたくましく生き抜く市民を描く。木村毅の小説「明治建設」を原作とし、脚色は『ハイマー・リード』(1942、山本嘉次郎)の山崎謙太が手掛けた。

1940(東宝映画・京都)監萩原遼脚木村毅脚山崎謙太脚安本淳脚河東安英會脚田信夫脚大河内傳次郎、山田五十鈴、黒川弥太郎、志賀曉子、汐見洋、北澤彌、清川壯司、鬼頭善一郎、鳥羽陽之助、三田國夫、横山運平

17 7/24(木)19:00 8/9(土)16:00

落花の舞(52分・35mm・白黒・不完全)

慶安の変で知られる由井正雪(荒木)一派は、紀州大納言頼宣(大谷)を幕府駆逐の企てに加盟させようとした。その謀計を主君に諫言せんとする忠臣と、加盟の証として連判状に捺印する御印を求める由井一派が入り混じる中、脇坂主税之助(市川)が悪を討つ。老中・松平伊豆守(葛木)が事態を察知し、脇坂に決起を促す場面などが欠落している可能性が高い。

1940(新興キネマ・京都)監西原孝脚八尋不二脚竹野治夫脚上里義三脚武政英策脚市川右太衛門、大谷日出夫、羅門光三郎、葛木香一、荒木忍、光岡龍三郎、歌川絹枝、浪花五郎、大河三鈴、中邦彦、岡春恵

まごころの歌(10分・35mm・白黒・部分)

出征兵士の家族と慰問袋を送った女学生が親しくなることで、前線と銃後の交流が育まれていく物語。オリジナル39分のうち、現存するのは冒頭10分だが、子どものやりとりを丁寧に掬い取る厚田雄治(雄春)のキャラクターワークを堪能できる。公開前に検閲のため内務省へフィルムを運搬していた際、フィルムの自然発火によって初号プリントが燃え、封切に支障をきたした。

1940(新興キネマ・京都)監西原孝脚八尋不二脚竹野治夫脚上里義三脚武政英策脚市川右太衛門、大谷日出夫、羅門光三郎、葛木香一、荒木忍、光岡龍三郎、歌川絹枝、浪花五郎、大河三鈴、中邦彦、岡春恵

3

18 7/24(木)15:00 8/3(日)13:00 8/14(木)19:00

女の宿 (86分・35mm・白黒)

姉の自殺から立ち直れない妙子(木暮)、その姿を見守る親友・美枝(北見)、事件の原因となった男・善一郎(高田)、善一郎の身代わりを務める信吉(日守)の4人それぞれの心理を描く。犬塚稔は林長二郎のデビュー作『稚児の剣法』(1927年)をはじめ脚本家、監督として松竹京都撮影所の全盛期を支えたが当時の作品はほとんどが失われている。本作は同撮影所「初の現代劇」としても注目された。

1941(松竹京都)監督犬塚稔原作大庭さち子脚本猪俣勝人監修生方敏夫美術脇田世根一高橋虎之助高田浩吉、日守新一、坪内美子、木暮實千代、北見礼子、坪井哲

19 7/25(金)15:00 8/9(土)19:00 8/21(木)19:00

愛國の花 (96分・35mm・白黒)

綾子(木暮)は亡き兄の親友・徹夫(佐野)との結婚を願っていたが、その思いを伝えた時、徹夫は別の女性との結納を交わした後だった。まもなく徹夫は出征。やがて失意を乗り越えた綾子も從軍看護婦に志願し、その職に生きがいを求めていく。数多くの女性映画、母もの映画を手がけた佐々木啓祐は、本作でもその手腕を発揮して、戦時の女性の運命を波瀾万丈のメロドラマとして仕上げている。

1942(松竹大船)監督佐々木啓祐原作長瀬喜伴渡辺健次美江坂実脚本木暮実千代、佐野周二、関穂、若水絹子、雨宮一、坂本武、山城美和子、三村秀子、葛城文子

20 7/25(金)19:00 8/10(日)16:00 8/23(土)13:00★

海の母 (90分・35mm・白黒・不完全)

すでに長男を戦争で失った母(杉村)が、海軍へ志願した次男(片山)を葛藤の末に送り出す典型的な戦意昂揚映画であり、作中に浪曲の口演が挿入される浪曲映画。本作で口演を行っている女流浪曲師・2代目天中軒雲月は時局色の強い主題で人気を集め、タイトルに「雲月のへ」と冠されたシリーズが製作されるなど、戦天下で数多くの映画に出演していた。冒頭が一部欠落している。

1942(日活多摩川)伊賀山正徳原作永見隆二脚本渡辺五郎浪曲口演天中軒雲月杉村春子、片山明彦、星ひかる、見明凡太郎、中田弘二、三井智恵、姫美谷接子、井染四郎、吉川英蘭、水島道太郎

★印の回は上映後に真鍋昌賢氏(北九州市立大学文学部教授)による講演(約60分)があります。

21 7/26(土)13:00 8/1(金)19:00 8/3(日)16:00

家に三男二女あり

(72分・35mm・白黒・不完全)

刀鍛冶の父(河村)から「偉い人になれ」と言われて育った長男・太郎(笠)、次男・次郎(土紀)、三男・三郎(大坂)、長女・いそ(水戸)、次女・ゆみ(大原)。職業選択や結婚生活などままならない現実と向き合いながら、一家は年を重ねてゆく。松竹大船調の典型的家庭劇だが、それぞれの葛藤がいかに国家への貢献を果たすかという命題に取組していくドラマツリーに国威発揚の企図が見てとれる。

1943(松竹大船)瑞穂春海監督藤良輔、長瀬喜伴原田雄治小島基司脚本朝比奈昇河村梨吉、吉川満子、笠智衆、水戸光子、土紀裕一、大坂志郎、大原英子、三浦光子、坂本武、高倉彰

22 7/26(土)16:00 8/12(火)15:00

秘話ノルマンドン号事件 假面の舞踏 (95分・35mm・白黒・不完全)

1886年に発生した英國船ノルマンドン号の沈没事件を題材に、犠牲となった日本人乗客の無念を晴らすべく船長の有罪を訴える検事(佐分利)と、欧化主義の時世のなかで躍動の人々の姿を描く。領事裁判において孤軍奮闘する主人公に理想的な愛国青年像を投影しながら、戦時下の対英感情を煽動する時局映画となっている。途中のエピソードが欠落(オリジナルは103分)。

1943(松竹大船)佐々木啓祐原作野田高梧脚本渡辺健次美濱田辰雄早乙女光脚本佐分利信、大久保晴子、河野敏子、葉山正雄、葛城文子、徳大寺伸、齋藤達雄、水戸光子、桑野道子、青山杉作、山口豊

26 7/19(土)13:00★ 7/29(火)19:00 8/22(金)15:00

君こそ次の荒鷺だ

(74分・35mm・白黒・不完全)

小津安二郎ら多くの監督を戦場に送った松竹大船における穂積利昌の監督デビュー作にして、陸軍少年飛行兵の募集を目的とした啓発映画。兵学校に入学した相川良平(星野)は種々の訓練を経て、父親の死の報に触れてモチベーションを失った立派な兵士となつた。やがて郷土の上に長距離編隊を組んで飛行することになり、父の墓前に佇む姉のシゲ(水戸)らから歓呼の声で迎えられる。オリジナルは81分だが、冒頭のクレジット等が欠落。

1944(松竹大船)穂積利昌原作野田高梧脚本布戸草萬城目正星野和正、葉山正雄、上原謙、水戸光子、三井秀男、葉山正雄、小澤東太郎、細川俊夫、若水絹子

★印の回は上映後に当館研究員による「返還映画コレクション調査の中間報告」をテーマにした講演(約40分)があります。

27 7/29(火)15:00 8/12(火)19:00 8/24(日)13:00

愉しき哉人生 (77分・35mm・白黒・不完全)

敗戦が色濃くなった太平洋戦争末期、映画は戦意昂揚よりも娛樂性を前面に押し出した。柳家金語楼を銃後思想の伝導者に配したミュージカル仕立ての喜劇で、桶屋の木船が心地よいリズムを刻み、雨が降っては妖精たちが群舞する。突然町に引っ越ししてきた変わり者の一家が「よろづ工房」を開店し、生活の苦しみはすべて気の持ちようで解決することを隣組の住人たちに伝えしていく。

1944(東宝)成瀬巳喜男八住利雄伊藤武夫北川恵司鈴木靜一柳家金語樓、山根壽子、中村メイコ、横山エンタツ、花岡菊子、渡辺篤、清川玉枝、小高たかし

28 7/30(水)15:00 8/23(土)19:30

五重塔 (64分・35mm・白黒・不完全)

幸田露伴の中篇小説を原作に、谷中五重塔を建立するまでの大工(花柳、柳)の敢闘と協力の精神を描いた五所の「芸道のもの」。溝口健二『残菊物語』(1939)のコンビ、花柳章太郎と森赫子をはじめとする新生新派がユニット出演し、美術考証に木村荘八を招いた大作であった。欠落の多い第二次返還映画版(37分)ではなく、1996年にロシア・ゴスフィルモフォンドで発見された、オリジナルの長さ(67分)に近い版での上映。冒頭クレジットが欠落。

1944(大映)五所平之助幸田露伴川口松太郎相坂操仲美喜夫斎藤一郎花柳章太郎、森赫子、柳永二郎、大矢市郎、逢初夢子、伊志井寛、村田正雄、松宮慶次郎

29 7/30(水)19:00 8/7(木)19:00 8/24(日)16:00

野戦軍樂隊 (67分・35mm・白黒・不完全)

情報局が公募した「国民映画脚本」の入選作を野田高梧が脚色し、マキノ正博が映画化。中国戦線の駐屯軍に新設された軍楽隊。園田少尉(佐分利)の指導のもと、楽器の演奏経験もまちまちの隊員たちが徐々に結束していく。戦意昂揚的な描写もわずかに見られるが、勇ましさよりも優しさの重要性を説く場面や子どもへのまなざしなど情感とユーモアが全篇を貫いている。途中欠落あり。

1944(松竹下加茂)マキノ正博原田辺新四郎野田高梧竹野治夫大沢壽人小杉勇、佐分利信、三原純、上原謙、佐野周二、李香蘭、杉狂児、三井秀夫、横美佐子



海の母



サヨンの鐘



君こそ次の荒鷺だ



舞台姿



愛國の花



野戦軍樂隊



嵐に咲く花



宮本武蔵 決闘般若坂

弁士・伴奏付上映出演者

片岡一郎(かたおか・いちろう)／活動写真弁士



2002年に澤登翠に入門。22か国で公演。約400作品の弁士を務める。『春の雪』、『ゆきてかへらぬ』、『BAUS』ほか「いたん」「ブギウギ」などの作品に弁士役で出演。周防正行監督『カツベン!』では出演、指導、時代考証で参加。2020年に弁士の歴史を詳述した単著『活動写真弁士』を上梓。

宮澤やすみ(みやざわ・やすみ)／三味線



2010年無声映画楽士デビュー。東京国際映画祭や伊・ポルデノーネ無声映画祭、独・ニッポンコネクションなど国内外で出演。小唄扇派師範。長唄三味線を八代目杵屋巳太郎師に師事。和洋問わず多彩なジャンルで作詞作曲、唄と三味線で活動中。2025年小唄アルバム『廻の夜』をリリース。

展示室(7階)

【企画展】 常設展「NFAJコレクションでみる 日本映画の歴史」も併設されています。

ポスターでみる映画史 Part 5 アニメーション映画の世界

Film History in Posters Part 5: Animated Films

2025年4月8日(火)ー7月27日(日)

*月曜日、7月8日(火)ー13日(日)は休室

主催:国立映画アーカイブ

映画の誕生から130年の節目を迎える本年、幅広い年代や国のアニメーション映画の系譜を、NFAJが所蔵するポスターなどの資料から網羅的にたどります。ハリウッドのカートゥーン映画、欧洲各国の特徴ある作品、そして日本が誇る名作の数々にも重点を置き、この映画文化が形作った大いなる潮流を振り返ります。

開室時間=11:00ー18:30(入室は18:00まで)

*5/30、6/27、7/25の金曜日は開室時間を午後8時まで延長いたします。(入室は午後7時30分まで)

料金=一般250円(200円)／大学生130円(60円)／65歳以上、高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)、国立美術館のキャンバスメンバーズは無料

*料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。

*()内は20名以上の団体料金です。

*学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、キャンバスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。

*国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券(オンラインチケット「購入確認メール」またはQRコードのプリントアウト)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

*詳細は本展のチラシまたは国立映画アーカイブのHPをご覧ください。

常設展ギャラリートーク

原則として毎月第一土曜日

*詳細はホームページをご覧ください。

NFAJデジタル展示室

下記ホームページからお入りください

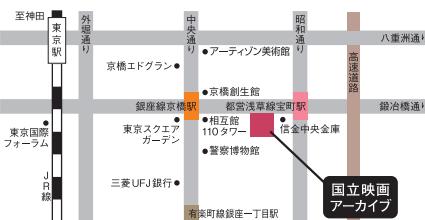
<https://www.nfaj.go.jp/onlineservice/digital-gallery>

1階受付では、「NFAJニュースレター」(季刊)を販売しています。これは、国立映画アーカイブのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネママークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用ください。

国立映画アーカイブは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。

FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。

fiaf



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅八重洲南口より徒歩10分



お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600
ホームページ: www.nfaj.go.jp

n 長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。

上映会番号 485

返還映画コレクション(3) — 第二次・劇映画篇

Repatriated Film Collection [Part 3]: Fiction Films, 1931-1944

15 火		15:00 ① 紅蝙蝠 第一篇 (101分)	19:00 ② 召集令／進軍の歌 (計123分)
16 水		15:00 ④ 相馬の金さん (55分)	19:00 ③ 怪奇 江戸川乱山 (62分)
17 木		15:00 ⑥ エノケンの頑張り戦術 (74分)	19:00 ⑤ 心の太陽 (77分)
18 金		15:00 ⑦ 無明有明 [後篇] (59分)	19:00 ⑧ 征戦愛馬譜 晓に祈る (105分)
19 土	13:00 ㉚ 君こそ次の荒鷺だ★ (74分)	16:00 ⑩ 舞台姿 (102分)	19:00 ⑪ 権三と助十 (78分)
20 日	13:00 ⑨ 美女桜[暴風篇・黎明篇] (114分)	16:00 ⑫ 二本松少年隊 (72分)	
7月			
22 火		15:00 ⑯ 都会の奔流 (93分)	19:00 ⑭ 美しき隣人 (84分)
23 水		15:00 ⑮ 姉の出征 (65分)	19:00 ⑯ 嵐に咲く花 (86分)
24 木		15:00 ⑯ 女の宿 (86分)	19:00 ⑰ 落花の舞／まごころの歌 (計62分)
25 金		15:00 ⑯ 愛國の花 (96分)	19:00 ㉚ 海の母 (90分)
26 土	13:00 ㉚ 家に三男二女あり (72分)	16:00 ㉚ 秘話ノルマントン號事件 假面の舞踏 (95分)	19:00 ㉚ サヨンの鐘 (74分)
27 日	13:00 ㉚ 愛機南へ飛ぶ (94分)	16:00 ㉚ 宮本武蔵 決闘般若坂 (75分)	
8月			
29 火		15:00 ㉗ 愉しき哉人生 (77分)	19:00 ㉚ 君こそ次の荒鷺だ (74分)
30 水		15:00 ㉙ 五重塔 (64分)	19:00 ㉙ 野戦軍樂隊 (67分)
31 木		15:00 ② 召集令／進軍の歌 (計123分)	19:00 ④ 相馬の金さん (55分)
1 金		15:00 ⑤ 心の太陽 (77分)	19:00 ㉚ 家に三男二女あり (72分)
2 土	13:00 ③ 怪奇 江戸川乱山 (62分)	16:00 ⑧ 征戦愛馬譜 晓に祈る (105分)	19:00 ⑦ 無明有明 [後篇] (59分)
3 日	13:00 ⑯ 女の宿 (86分)	16:00 ㉚ 家に三男二女あり (72分)	
9月			
5 火		15:00 ⑩ 舞台姿 (102分)	19:00 ⑨ 美女桜[暴風篇・黎明篇] (114分)
6 水		15:00 ⑪ 権三と助十 (78分)	19:00 ㉚ 二本松少年隊 (72分)
7 木		15:00 ⑭ 美しき隣人 (84分)	19:00 ㉚ 野戦軍樂隊 (67分)
8 金		15:00 ⑯ 嵐に咲く花 (86分)	19:00 ⑮ 姉の出征 (65分)
9 土	13:00 ① 紅蝙蝠 第一篇 ♪片岡一郎、宮澤やすみ (101分)	16:00 ⑰ 落花の舞／まごころの歌 (計62分)	19:00 ⑯ 愛國の花 (96分)
10 日	13:00 ⑥ エノケンの頑張り戦術 (74分)	16:00 ㉚ 海の母 (90分)	
10月			
12 火		15:00 ㉚ 秘話ノルマントン號事件 假面の舞踏 (95分)	19:00 ㉗ 愉しき哉人生 (77分)
13 水		15:00 ㉚ サヨンの鐘 (74分)	19:00 ㉚ 愛機南へ飛ぶ (94分)
14 木		15:00 ㉚ 宮本武蔵 決闘般若坂 (75分)	19:00 ⑯ 女の宿 (86分)
15 金		15:00 ③ 怪奇 江戸川乱山 (62分)	19:00 ⑩ 舞台姿 (102分)
16 土	13:00 ⑮ 姉の出征 (65分)	16:00 ㉗ 都会の奔流 (93分)	19:00 ⑤ 心の太陽 (77分)
17 日	13:00 ⑯ 嵐に咲く花 (86分)	16:00 ⑭ 美しき隣人 (84分)	
11月			
19 火		15:00 ⑧ 征戦愛馬譜 晓に祈る (105分)	19:00 ⑪ 権三と助十 (78分)
20 水		15:00 ⑨ 美女桜[暴風篇・黎明篇] (114分)	19:00 ㉚ サヨンの鐘 (74分)
21 木		15:00 ㉚ 二本松少年隊 (72分)	19:00 ⑯ 愛國の花 (96分)
22 金		15:00 ㉚ 君こそ次の荒鷺だ (74分)	19:00 ㉚ 宮本武蔵 決闘般若坂 (75分)
23 土	13:00 ㉚ 海の母★ (90分)	16:30 ② 召集令／進軍の歌 (計123分)	19:30 ㉙ 五重塔 (64分)
24 日	13:00 ㉗ 愉しき哉人生 (77分)	16:00 ㉙ 野戦軍樂隊 (67分)	

■★印の回は講演があります。

■♪印の回は弁士・伴奏付上映です。

■各日11:00に開館します。